

第5章 温室効果ガス排出量削減目標

1 温室効果ガス排出量削減目標

2021年10月、5年ぶり改定された国の地球温暖化対策計画では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、中期目標として、2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていくという新たな削減目標が示されました。

本市では、これまで2050年度の温室効果ガスを2013年度比80%削減を目指して、2030年度の温室効果ガスを2013年度比26%削減することを目標として設定し、温室効果ガス削減の取組を進めてきましたが、本市においても、国の地球温暖化対策計画と同等の水準の目標を設定し、脱炭素社会の実現に向けた取組を一層強化していくこととし、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、2030年度の温室効果ガス排出削減目標は、CO₂排出量を2013年度比50%削減とします。

表12 部門・分野別温室効果ガス削減目標

	2030年度	2050年度
改訂前	2013年度比26%削減	2013年度比80%削減
改訂後	2013年度比50%削減	2013年度比100%削減

2 部門・分野別削減目標

2030年度までの部門・分野別の温室効果ガス削減目標を表13のとおり設定します。

表13 部門・分野別温室効果ガス削減目標

部門・分野		CO ₂ 排出量(千t-CO ₂)			削減率
		2013年度 (基準年度)	2019年度 (現況年度)	2030年度 (目標年度)	2030年度 (基準年度比)
産業部門	製造業	268	281	166	▲38%
	建設業・鉱業	10	7	4	▲60%
	農林水産業	14	17	8	▲43%
業務その他部門		189	150	92	▲51%
家庭部門		187	123	64	▲66%
運輸部門	自動車(貨物)	120	147	78	▲35%
	自動車(旅客)	162	132	106	▲35%
	鉄道	8	6	5	▲38%
廃棄物分野焼却 一般廃棄物		9	16	7	▲22%
排出量		968	880	530	—
森林吸収		—	25	▲45	—
正味排出量		968	904	485	▲50%

(※小数点以下の端数処理の影響により、一部合計と合わない箇所があります)